

1. 欧州往航 (東アジア・東南アジア→欧州)¹

(1) 輸送量

2017年6月のコンテナ貨物輸送量は、前年比6.7%増の140.4万TEUで4か月連続のプラスとなった(表1-1及び別紙(図-1)参照)。1-6月累計では5.2%増の795.5万TEUであった。

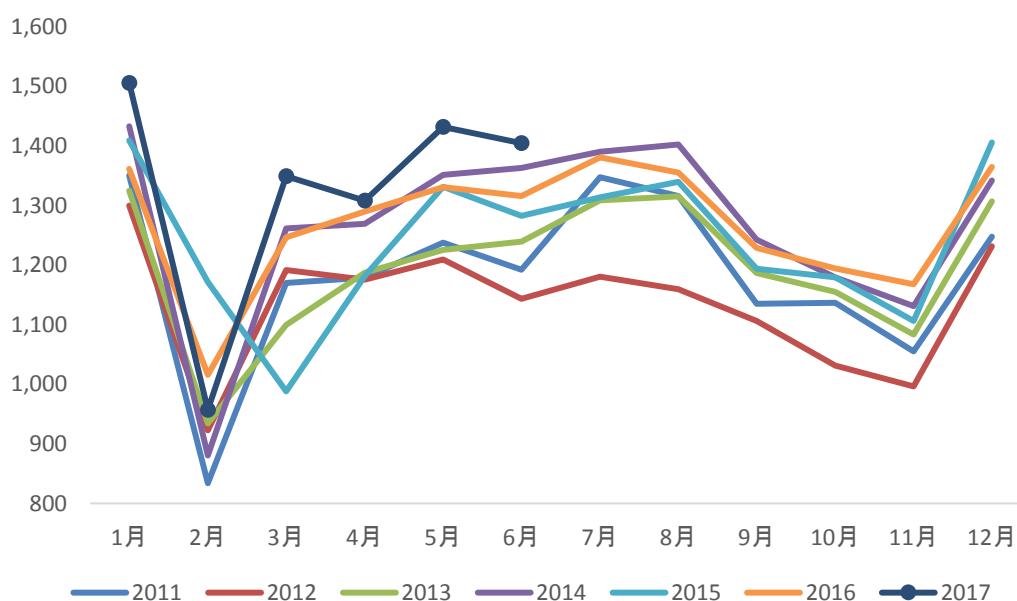
表1-1 往航輸送量

単位:千TEU

	往航				往航			
	2016年		2017年		2016年		2017年	
	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)
1月	1,361	▲ 3.4	1,361	▲ 1.4	1,506	10.6	1,506	10.6
2月	1,016	33.3	2,377	▲ 6.4	957	▲ 5.8	2,462	3.6
3月	1,246	▲ 22.1	3,624	1.2	1,349	8.2	3,811	5.2
4月	1,290	▲ 7.9	4,914	2.7	1,308	1.4	5,119	4.2
5月	1,330	▲ 2.7	6,244	1.8	1,432	7.6	6,551	4.9
6月	1,316	▲ 7.1	7,560	1.7	1,404	6.7	7,955	5.2
7月	1,381	▲ 6.9	8,941	2.0				
8月	1,355	▲ 6.2	10,295	1.8				
9月	1,229	▲ 5.8	11,524	1.8				
10月	1,195	▲ 1.8	12,719	1.6				
11月	1,168	▲ 3.9	13,886	1.8				
12月	1,365	2.5	15,251	1.2				
計	15,251	▲ 3.7						

出所:CTS社

図1-1 年別荷動き量



¹ この資料で用いる輸送量などの数値は Container Trades Statistics 社が発表したデータ (速報値) を使用している。

出所：CTS社

(2) 地域別輸送量

中国地域積は前年比 8.9%増となる 102.8 万 TEU、北東アジア積は 1.3%減となる 17.3 万 TEU、東南アジア積は 3.3%増となる 20.4 万 TEU となっている。

表1-2 地域別荷動き量(仕出地側)

単位:千TEU

	中国	前年比 (%)	北東アジア	前年比 (%)	東南アジア	前年比 (%)
1月	1,137	14.4	163	▲ 3.5	206	3.3
2月	619	▲ 10.4	155	▲ 0.2	183	7.8
3月	946	11.4	188	2.2	215	0.9
4月	938	2.4	177	▲ 4.4	193	2.5
5月	1,053	10.2	172	▲ 0.4	207	1.9
6月	1,028	8.9	173	▲ 1.3	204	3.3
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
		構成比		構成比		構成比
2013年計	10,654	74.3	1,825	12.7	1,868	13.0
2014年計	11,460	74.5	1,919	12.5	2,006	13.0
2015年計	10,807	72.5	1,959	13.1	2,135	14.3
2016年計	10,945	73.3	2,015	12.7	2,291	14.0

出所:CTS社

※1. 地域分類は以下のとおり。

中国:中国本土、香港、モンゴル

北東アジア:日本、韓国、台湾、極東ロシア

東南アジア:ブルネイ、インドネシア、カンボジア、ラオス、マレーシア、

ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

※2. 上記数値には、“その他のアジア”を含まない。

※3. 2016年以前の数値には、モンゴル、極東ロシアを含まない。

西欧・北欧州揚は前年比 5.5%増の 87.8 万 TEU、地中海東部・黒海沿岸揚は%増の 12.7%増の 27.0 万 TEU、地中海西部・北アフリカ揚は 5.2%増の 25.6 万 TEU となっている。

表1-3 地域別荷動き量(仕向地側)

単位:千TEU

	西欧・北欧	前年比 (%)	地中海東部 黒海	前年比 (%)	地中海西部 北アフリカ	前年比 (%)
1月	973	9.8	256	13.7	277	10.4
2月	604	▲ 5.4	181	▲ 7.5	172	▲ 5.6
3月	845	7.8	261	9.9	242	8.0
4月	797	▲ 1.0	257	4.7	254	6.1
5月	889	5.1	282	21.4	260	3.1
6月	878	5.5	270	12.7	256	5.2
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
2013年計	9,361		2,556		2,430	
2014年計	10,119	8.1	2,648	3.6	2,618	7.7
2015年計	9,692	▲ 4.2	2,646	▲ 0.1	2,564	▲ 2.1
2016年計	9,744	0.5	2,762	4.4	2,745	7.1

出所:CTS社

表1-4 EUおよびユーロ圏向け荷動き量単位:千TEU

EU ※	前年比 (%)	ユーロ圏※	前年比 (%)
1,197	10.6	841	9.6
744	▲ 5.3	529	▲ 5.6
1,035	7.4	715	5.8
1,004	0.4	704	▲ 1.1
1,101	5.6	763	3.6
1,084	5.8	756	4.9
11,110		8,106	
11,834	6.5	8,408	3.7
11,650	▲ 1.6	8,181	▲ 2.8
11,929	2.4	8,341	2.0

※EU28か国およびユーロ圏19か国のうち、ルクセンブルクを除いた国について集計している

2. 欧州復航（欧州→東アジア・東南アジア）

(1) 輸送量

2017年6月の輸送量は、前年比2.7%減の63.2万TEUで6か月ぶりのマイナスとなった（表2-1及び別紙(図-2)参照）。1-6月累計では7.3%増の392.0万TEUであった。

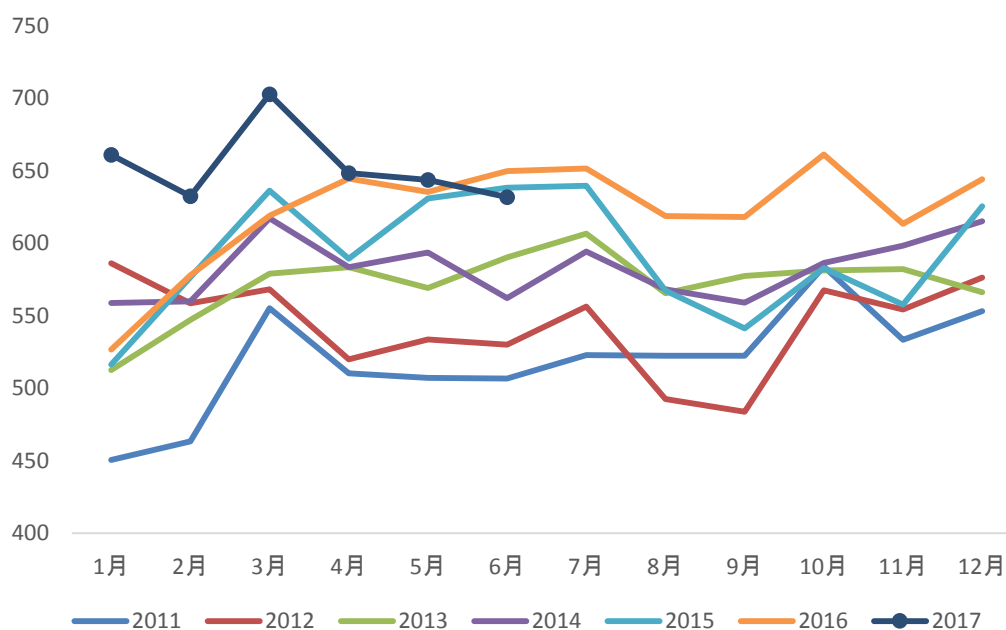
表2-1 復航輸送量

単位:千TEU

	復航				復航			
	2016年				2017年			
	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)
1月	527	▲ 1.4	527	4.5	661	25.5	661	25.5
2月	578	▲ 12.4	1,105	3.6	633	9.5	1,294	17.1
3月	619	21.1	1,724	2.3	703	13.5	1,996	15.8
4月	645	7.3	2,368	4.8	648	0.6	2,645	11.7
5月	635	▲ 1.4	3,004	4.4	644	1.3	3,288	9.5
6月	650	1.2	3,654	4.4	632	▲ 2.7	3,920	7.3
7月	652	3.8	4,305	4.3				
8月	619	0.1	4,924	5.1				
9月	618	1.6	5,542	6.3				
10月	661	0.5	6,203	7.3				
11月	613	3.9	6,817	7.8				
12月	644	▲ 4.8	7,461	7.7				
計	7,461	1.2						

出所:CTS社

図2-1 年別荷動き量



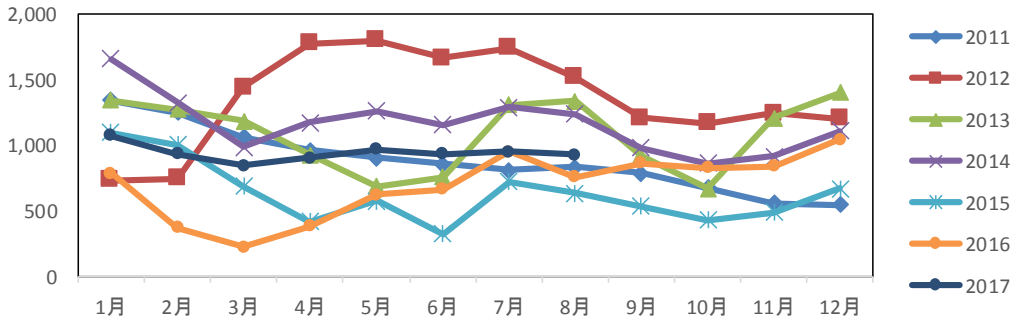
出所:CTS社

3. 欧州航路運賃

(1) 往航：

上海航運交易所発表の上海-欧州間のスポット運賃（発着地の THC を含まない）によると、7月の運賃は948\$/TEUで、5か月連続900\$/TEU超えを維持している。

図表 3-1： 欧州往航（上海→欧州）の月別運賃推移



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	期間平均
2015	1,098	999	683	414	576	321	721	633	530	428	483	668	682
2016	784	372	223	380	622	660	950	755	864	825	836	1,040	507
2017	1,074	929	841	901	965	929	948	928					940

出所：上海航運交易所

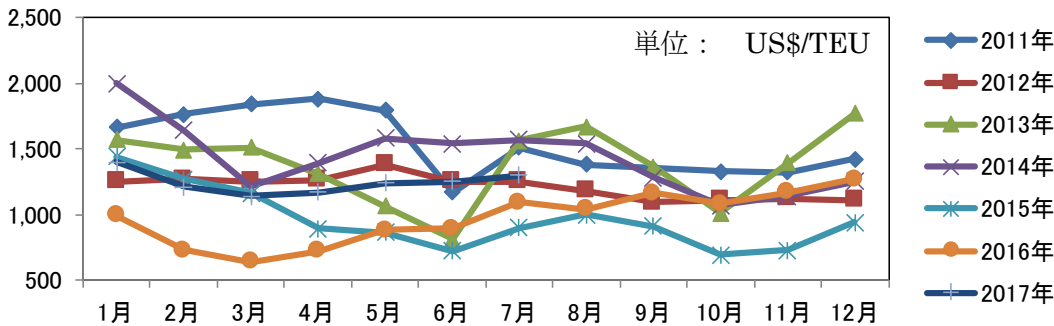
※2017年8月の数値は、直近8/18までの運賃を示す。

※地中海向けは含まれない（以下のグラフ同じ）

※THC：Terminal Handling Charge

Drewry 発表の欧州往航の運賃（塩田→フェリックスストウ間、発着地の THC を含む）によると、7月の運賃は1,300\$/TEUで、4か月連続で上昇している（図表 3-2 参照）。

図表 3-2 欧州航路往航運賃（塩田→フェリックスストウ）



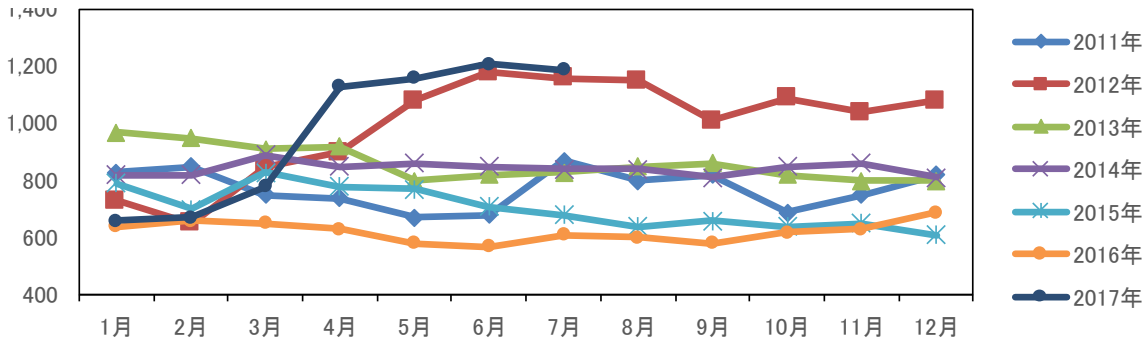
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	期間平均
2015	20ft	1,440	1,270	1,160	890	860	720	900	1,000	910	690	730	940	1,124
	40ft	2,500	2,200	1,900	1,360	1,360	1,060	1,290	1,450	1,360	1,010	1,040	1,410	1,864
2016	20ft	990	730	640	720	880	890	1,090	1,040	1,160	1,080	1,170	1,270	792
	40ft	1,560	980	800	970	1,370	1,380	1,760	1,680	1,910	1,760	1,950	2,130	1,136
2017	20ft	1,400	1,210	1,140	1,170	1,240	1,250	1,300						1,244
	40ft	2,380	2,050	1,900	1,970	2,040	2,080	2,170						2,084

出所：Drewry “Container Freight Rate Insight”

(2) 復航

Drewry 発表の欧州復航運賃（フェリックストウ→塩田間、発着地の THC を含む）によると、7月の運賃は1,190\$/TEU で、6か月ぶりにやや値下がりした。（図表 3-3 参照）。

図表 3-3 欧州航路復航運賃（フェリックストウ→塩田）



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	期間平均
2015	20ft	790	700	830	780	770	710	680	640	660	640	650	610	774
	40ft	1,040	930	1,080	1,020	1,000	930	930	870	890	840	870	790	1,014
2016	20ft	640	660	650	630	580	570	610	600	580	620	630	690	632
	40ft	840	850	850	800	750	750	780	800	790	820	850	900	818
2017	20ft	660	670	780	1,130	1,160	1,210	1,190						971
	40ft	900	910	1,000	1,380	1,440	1,520	1,480						1,233

出所：Drewry “Container Freight Rate Insight”

参考表：日本・欧州間のコンテナ貨物輸送量(2014-17年)

単位：TEU

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
2014	往航	49,218	47,194	54,354	48,091	42,324	44,851	46,266	41,718	42,579	43,454	37,703	45,875	543,627
	復航	66,595	69,039	74,991	60,002	58,374	55,631	56,734	53,701	54,140	54,618	49,588	56,842	710,255
2015	往航	42,360	43,626	46,920	44,700	42,654	45,611	45,509	43,924	42,748	44,410	38,887	49,825	531,174
	復航	51,597	53,615	61,660	59,125	57,854	59,080	62,660	54,316	55,054	59,547	52,059	64,126	690,693
2016	往航	39,042	44,098	47,166	48,216	39,568	42,362	45,031	39,150	39,108	39,873	35,694	45,789	505,097
	復航	51,768	57,201	59,832	62,792	59,475	62,279	61,957	56,655	61,892	62,521	54,789	63,496	714,657
2017	往航	32,583	39,039	45,274	43,647	37,182	40,600							238,325
	復航	56,372	55,605	64,250	61,439	62,583	56,794							357,043
前年比														
2017	往航	▲ 16.5	▲ 11.5	▲ 4.0	▲ 9.5	▲ 6.0	▲ 4.2							
	復航	8.9	▲ 2.8	7.4	▲ 2.2	5.2	▲ 8.8							

出所：CTS 社

4. EUROSTAT を用いた 2017 年 6 月海上輸送品目統計 (EU28 か国ー中国間)

(1) 輸入：中国発欧州向け (EU 側通関ベース)

2017年6月EU28か国:中国からの輸入実績 (海上輸送品目のみ, EU側通関ベース 注3)

NO.注2	HS コード	品目名	2017年6月						2017年1-6月累計			
			輸入量(1000t)			輸入額(100万€)			輸入量(1000t)		輸入額(100万€)	
			前年比	シェア	前年比	シェア	前年比	前年比				
1	84	機械類	550	15.8	12.4%	3,279	4.9	17.7%	3,042	7.6	19,383	0.7
2	94	家具、寝具など	346	5.8	7.8%	1,311	7.0	7.1%	2,004	3.5	7,875	5.9
3	73	鉄鋼製品	322	6.4	7.2%	676	11.9	3.7%	1,881	4.4	3,913	7.2
4	85	電気機器、AV機器など	333	6.0	7.5%	3,539	9.1	19.1%	1,869	▲ 8.9	20,500	6.2
5	50	繊維類及びその製品	299	2.9	6.7%	2,017	▲ 1.9	10.9%	1,606	1.7	11,903	▲ 2.2
6	68	石材、セメント製品など	254	2.5	5.7%	109	10.0	0.6%	1,302	0.9	610	7.8
7	39	プラスチック及びその製品	241	6.4	5.4%	734	9.3	4.0%	1,290	3.6	4,073	7.4
8	29	有機化学品	179	18.6	4.0%	611	18.0	3.3%	942	2.5	3,531	12.6
9	44	木材	197	45.2	4.4%	212	▲ 0.1	1.1%	745	1.0	1,229	3.3
10	87	自動車部品など	138	9.7	3.1%	564	15.7	3.0%	728	4.3	3,118	12.9
11	78	卑金属及びその製品	130	3.9	2.9%	579	8.5	3.1%	713	0.9	3,227	6.5
12	95	玩具、遊戯用具、スポーツ用	123	9.3	2.8%	858	32.1	4.6%	708	5.1	4,643	13.4
13	40	ゴム及びその製品	115	12.8	2.6%	323	20.3	1.7%	621	7.0	1,741	10.3
14	25	塩、硫黄、土石類、石灰及び	96	10.6	2.2%	27	1.1	0.1%	620	13.1	181	10.5
15	70	ガラス及びその製品	117	7.9	2.6%	180	4.5	1.0%	618	4.1	1,010	6.2
16	64	履物、帽子、傘、つえ、調製羽 毛など	77	1.5	1.7%	648	▲ 0.4	3.5%	552	▲ 1.8	4,422	▲ 0.7
17	69	陶磁製品	107	14.4	2.4%	124	3.4	0.7%	548	8.2	687	4.1
18	6	野菜、穀物、果実、採油用種	75	▲ 3.7	1.7%	151	▲ 2.9	0.8%	528	0.5	1,075	4.1
19	28	無機化学品及び貴金属、希土 類金属	87	▲ 2.3	1.9%	108	13.6	0.6%	513	▲ 2.0	607	9.8
20	16	調製食料品、飲料、アルコー ル、食酢など	86	2.6	1.9%	125	5.6	0.7%	479	4.8	800	13.4
上位20品目合計			3,872	9.0	87.0%	16,176	7.6	87.4%	21,309	2.6	94,527	4.5
TOTAL			4,452	9.7	100.0%	18,515	7.5	100.0%	24,204	1.3	107,484	4.7

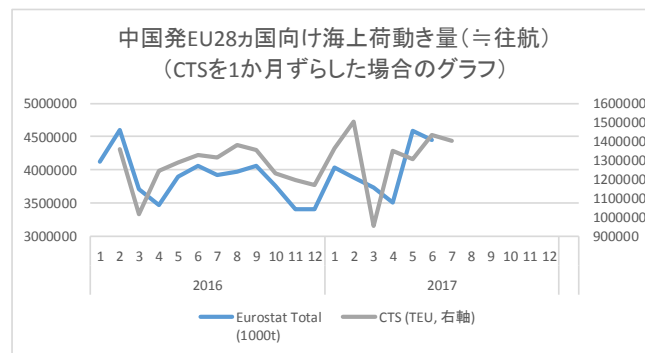
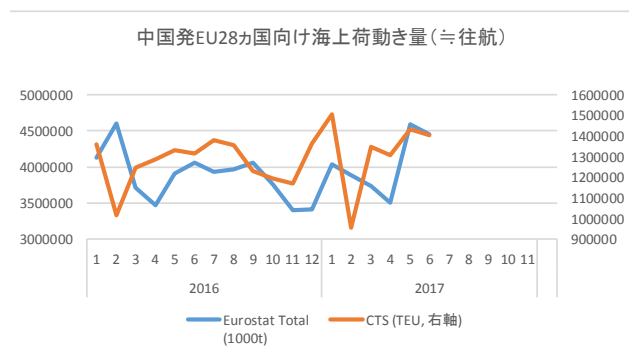
出所：EUROSTATをもとに(公財)日本海事センター作成

注1 HSコード27「原油および石油製品」、HSコード72「鉄鋼」、およびHSコード8702～8705「完成車」は上記海上輸送品目から除外している。

注2 重量ベース(累計)の順位に基づく。

注3 EUROSTAT集計に基づく通関ベースのデータのため、船の発着を基準とするCTSのデータとはタイムラグが生じる(以下グラフ参照)

(参考)EUROSTAT/CTS対比



(2) 輸出：欧州発中国向け（EU側通関ベース）

2017年6月EU28か国：中国への輸出実績（海上輸送品目のみ、EU側通関ベース※注3）

NO.注2	HSコード※	品目名	2017年6月						2017年1-6月累計			
			輸出量(1000t)			輸出額(100万€)			輸出量(1000t)		輸出額(100万€)	
			前年比	シェア		前年比	シェア		前年比	前年比		
1	47	木材パルプ、古紙、板紙など	983	13.8	30.4%	298	25.2	4.0%	5,781	6.7	1,793	27.2
2	44	木材	446	32.8	13.8%	139	33.6	1.9%	2,735	28.7	850	42.2
3	39	プラスチック及びその製品	209	▲ 19.5	6.5%	378	0.8	5.1%	1,415	▲ 0.8	2,384	11.9
4	25	塩、硫黄、土石類、石灰及びセメントなど	267	33.0	8.2%	59	55.0	0.8%	1,269	20.2	279	32.3
5	1	肉及び食用のくず肉、酪農品、魚介類など	200	▲ 32.9	6.2%	322	▲ 32.3	4.3%	1,188	▲ 21.2	1,932	▲ 14.3
6	16	調製食料品、飲料、アルコール、食酢など	167	14.4	5.2%	478	31.6	6.4%	865	16.8	2,355	24.2
7	26	鉱石、スラグ及び灰	148	36.1	4.6%	123	68.2	1.7%	808	19.8	686	71.2
8	84	機械類	104	19.8	3.2%	1,875	14.1	25.2%	592	10.7	10,555	11.9
9	74	銅及びその製品	88	10.2	2.7%	272	43.1	3.7%	563	23.2	1,761	54.1
10	29	有機化学品	59	18.0	1.8%	126	▲ 2.0	1.7%	457	38.3	931	19.5
11	87	自動車部品など	64	1.8	2.0%	783	1.4	10.5%	374	0.3	4,577	3.0
12	31	肥料	24	▲ 16.4	0.8%	10	▲ 28.2	0.1%	256	▲ 9.1	92	▲ 25.9
13	50	繊維類及びその製品	43	17.2	1.3%	134	1.9	1.8%	223	4.5	767	0.8
14	38	各種の化学工業生産品	32	0.2	1.0%	120	▲ 1.7	1.6%	188	12.8	775	15.3
15	73	鉄鋼製品	31	1.0	1.0%	168	0.6	2.3%	185	2.0	970	0.2
16	41	皮革及び毛皮並びにこれらの	25	▲ 1.5	0.8%	50	3.6	0.7%	184	9.9	322	4.2
17	34	石けん、有機界面活性剤、調製	25	3.5	0.8%	70	6.1	0.9%	165	15.9	450	16.6
18	40	ゴム及びその製品	24	▲ 8.2	0.7%	115	5.7	1.5%	164	5.5	726	18.2
19	85	電気機器、AV機器など	24	11.8	0.7%	642	3.6	8.6%	154	13.8	3,840	13.2
20	99	未分類	71	5268.3	2.2%	30	317.7	0.4%	151	1931.1	96	139.2
上位20品目合計			3,034	11.6	93.8%	6,192	8.9	83.3%	17,716	10.1	36,142	13.0
TOTAL			3,236	8.6	100.0%	7,429	6.5	100.0%	18,937	8.0	43,419	12.2

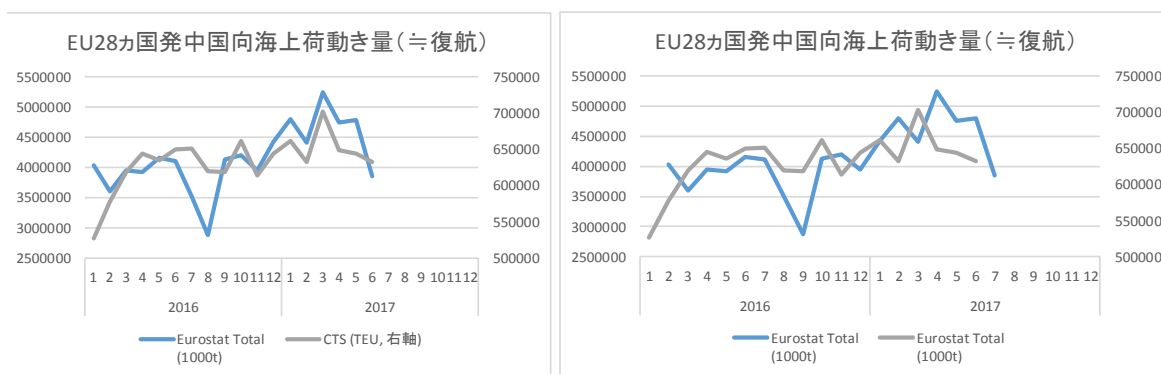
出所：EUROSTATをもとに（公財）日本海事センター作成

注1 HSコード27「原油および石油製品」、HSコード72「鉄鋼」、およびHSコード8702～8705「完成車」は上記海上輸送品目から除外している。

注2 重量ベースに基づく順位となっている。

注3 EUROSTAT集計に基づく通関ベースのデータのため、船の発着を基準とするCTSのデータとはタイムラグが生じている（以下グラフ参照）

（参考）EUROSTAT/CTS対比



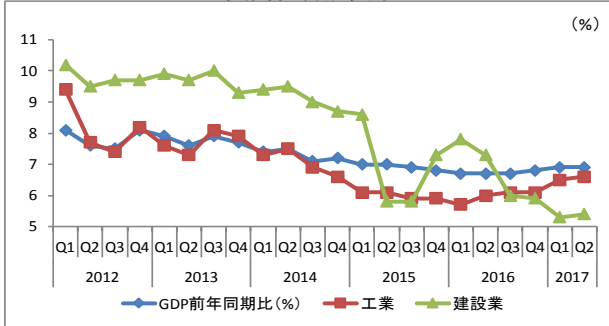
(参考) 荷動きに関連する欧州および中国の主要経済指標

2017年8月作成 中国経済: やや回復か

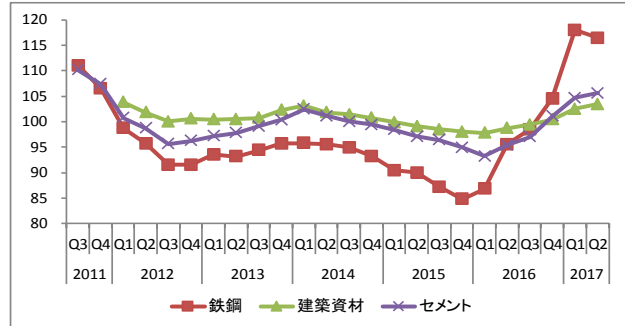
- ◆GDPは緩やかながら上昇基調。2017年第1四半期のGDPは6.9%で横ばい（速報値）。工業生産は2016年第1四半期を底に5四半期連続で増加。建設業は5四半期ぶりのプラスに。
- ◆2017年の住宅建設済及び建設着工床面積は、2016年を上回るペースを維持。
- ◆2014年夏以降減少していたPMI（製造業および非製造業購買担当者景気指数）は、2016年以降上昇基調。
- ◆2016年の価格指数は、非農産物、農産物ともに上昇基調。特に工業製品の伸びは高い。

データ出所：中国国家统计局

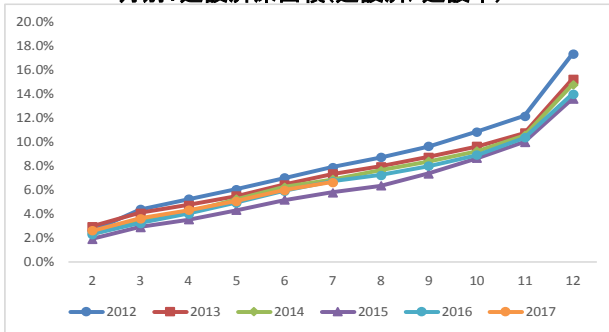
実質経済成長率



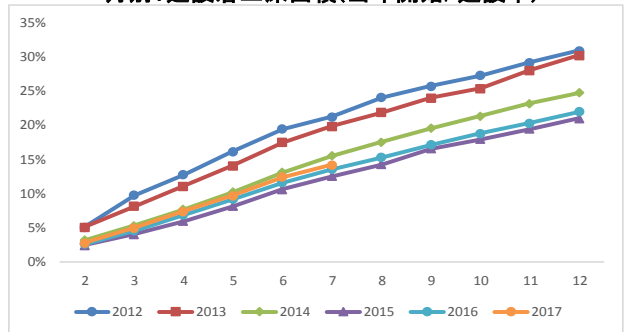
固定資産投資価格指数(PI)



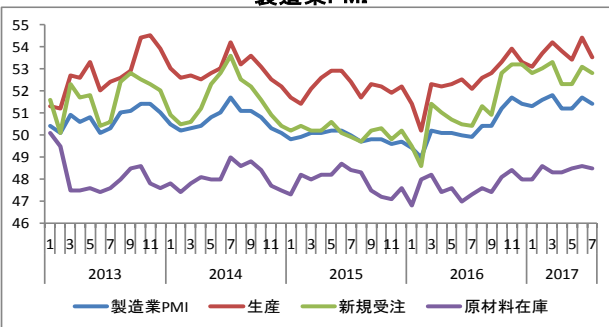
月別: 建設済床面積(建設済/建設中)



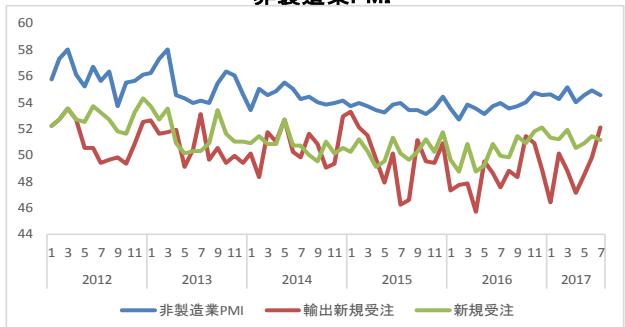
月別: 建設着工床面積(当年開始/建設中)



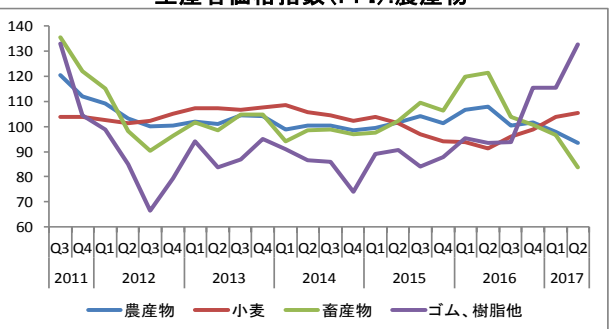
製造業PMI



非製造業PMI



生産者価格指数(PPI): 農産物



2017年8月作成 欧州経済:緩やかな成長

- ◆EU28カ国およびユーロ圏18カ国のGDPは緩やかな成長を維持。消費者物価指数は2016年3月を底に回復基調。
- ◆失業率は欧州全体は低下傾向が続く。
- ◆2016年以降、欧州の製造業生産指数は回復基調を維持。
- ◆原油価格は2016年以降上昇傾向にあったが、2017年はやや緩やかな上昇傾向にある。
- ◆2017年に入りポンド、ユーロとも上昇傾向を示す。

出所:EUROSTAT

